（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　えにし

公表日　R7　年　4　月　21　日

			チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1		利用定員が発達支援思等のスペースとの関係で適切であるか。	S		より広い空間を確保するため、物の配置の考慮や整理整頓等をしっかり行っている	
	2		利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	S		小集団での活動をメインに行い、職員の目が行き届くよう工夫や意識を行っている	
	3		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	S		動線がわかりやすく日の届きやすい作りになっており、バリアフリーでは無いが部屋の仕切り等に段差はない	
	4		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっているか。	S		動線がわかりやすく日の届きやすい作りになっており、バリアフリーでは無いが部屋の仕切り等に段差はない	
	5		必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	S		個室も用意してあり、用途に合わせて利用できる空間として確保してある	
業務改善	6		業務改善を進めるための　PDCAサイクルは目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	S		定期的に共有の時間を設け、現状に満足する事なく常に改善策を見出している	
	7		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	S		今後の活動や方向性へ反映させていただいている	
	8		職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	S		職員会議での意見交換の場や、直接的に受け止め、出なども毎日のの活動に取り入れ、改善・ブラッシュアップをしている	
	9		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	S		今後必要とあれば行っていく	
	10		職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	S		必要な研修は至先して受講している。その他研修も、他社と契約し事業所で受けられる体制を整えている	
適切な支援の提供	11		適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	S		HPへ掲載をしている	
	12		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	S		保護者に本人の様子を伝えるとともに現在、えにしとしての意見をお互いに理解し、相違にずれの内容に確認をしっかり行いながら進めている	
	13		児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	S		定期的な職員会議を実施し、職種の違う職員同士がそれぞれの立場で意見を交換しつつ検討を行っている	
	14		児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	S		支援計画を立てる過程で各職員からの意見を出し合い、作成後も各容種話共有を行なった上で支援に取り組んでいる	
	15		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	S		ベーシックなツールを基準として、支援の勘所が曖ったりずれたりしない事を意識し活動内容を組み立てている	
	16		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのよって、具体的な支援内容が設定されているか。	S		定期的に児発の概要の研修を職員間で行い、認識の再確認と「児発」存在意義の周知徹底を行っている	
	17		活動プログラムの立案をチームで行っているか。	S		1人の方向性に偏らないように常にチームで行っている	
	18		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	S		研修や教材などを活用し、利用者の成長や達成度に合わせて更新している	
	19		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	S		状況・他利用者など毎日違う環境になる事を踏まえ、個別と集団それぞれが偏らないよう考慮して計画を作成している	
	20		支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	S		良い支援を効率的・効果的に行うため、職員間で都度話し合い役割分担をしている	
	21		支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	S		時間の関係で支援終了後に出来なかった場合は、各自が直接伝えあったり支援会議の際に共有している	
	22		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	S		連絡帳の事等を保存し記録としている。小さな事でもヒヤリハットとして記録し周知する事で、支援の検証や改善にも繋げている	
	23		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	S		計画の内容に意識を持っており、必要を感じ応用と都度保護者と連携しモニタリングを行い見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	S		支援する者として理解しているのは当然と認識している	
	25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	S		必要な時に滞る事なく支援が行う為に連携が途絶え無いよう、日頃は必要最低限な連携を続ける意識をしている	
	26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	S		必要な時に滞る事なく支援が行う為に連携が途絶え無いよう、日頃は必要最低限な連携を続ける意識をしている	
	27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			就学に向け関係者間での情報交換の場として支援会議を行っている	
	28		（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センター等障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30		（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ継続的に参加しているか。				
	31		（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		S	前例がないが、必要とあれば行う予定としている	・今後必要とあれば検討する
	32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		S	・現在は行っていない	・今後必要とあれば検討する
	33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	S		・連絡帳またはメール、送迎時に情報交換などの共有をしている	・必要があれば事前に予定を組み相談等の時間を作り、忙しく時間が取れない保護者様には引き続き連絡帳での連携を行う
	34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	S		必要と感じる保護者へは助言をさせてもらっている。都度必要を感じた際に情報提供を行う	
保護者への説明等	35		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	S		契約の際に説明を行い、不明な点等が無いかの確認も徹底している。	
	36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の確認 、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	S		そこをベースに計画・支援を行う事は当然と認識している。	
	37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	S		同意を得る事は当然だと認識している	
	38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	S		ご家族に安心して相談をしてもらえる関係を築くとともに、相談があった際はご家族に要望に応じた環境で助言等を行っている	
	39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		S	前例が無いが必要とあれば検討をする	
	40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	S		事業種別・状況種毎を徹底の上臨時講や相談時への周知を行い迅速かつ適切な対応を行っている	
	41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	S		イベント毎にインスタを更新している。	
	42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	S		定期的に研修を行い、職員間での周知徹底を行っている。	
	43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	S		個々に合った伝え方や意思疎通の方法を考え行っている	
	44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	S		前例は無いが必要とあれば検討する	
非常時等の対応	45		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	S		規定通り作成し研修・周知を行っている	
	46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	S		規定通り作成し研修・周知を行っている	
	47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	S		利用契約前の関係者会議にて、必要事項は確認の徹底をしている	
	48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	S		前例は無いが、該当者が利用となった場合は対応する	
	49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	S		規定通り作成し研修・周知を行っており、規定に沿った支援を行っている	
	50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	S		契約の際や計画の更新時等に都度周知して来ている	
	51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	S		どんな小さな事にも気づき再発防止に繋げるため、共有・検討を行っている	
	52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	S		規定通りマニュアルを作成し研修・周知を行っており、規定に沿った支援を行っている	
	53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	S		「運営規定」「重説」へ記載し、契約時に説明を行っている。周知と了承を得た証に署名・押印をいただいている	

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　えにし

公表日　R7 年 4 月 21 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が放課後支援等のスペースとの関係で適切であるか。	5		より広い空間を確保するため、物の配置の考慮や整理整頓等をしっかり行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	5		小集団での活動をメインに行い、職員の目が行き届くよう工夫や意識を行っている	もう１人～２人いると余裕を持って支援できるかなと思うが、基準はきちんと満たしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		動線がわかりやすく目の届きやすい作りになっており、バリアフリーでは無いが段差の仕切り等に段差はない	廊下以外の段差は室内には無いが、バリアフリーにはなっていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごける環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		常に「掃最」を意識し清掃を行い、清潔感を保つよう配慮をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室も用意してあり、用途に合わせて利用できる空間として機保してある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		定期的に共有の時間を設け、現状に満足する事なく常に改善策を見出している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		今後の活動や方向性へ反映させていただいている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議での意見交換の場や、直接的に受けた早し出など毎日の活動に取り入れ、改善・ブラッシュアップをしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		今後必要とあれば行っていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		必要な研修は至先して受講している。その他研修も、他社と契約し事業所で受けられる体制を整えている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPへ掲載をしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者さまが感じる困り感とお子さまの現状、えにしとしての意見をお互いに周知し、認識にずれの内容に補足をしっかり伝えながら作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		定期的に職員会議を実施し、職種の違う職員同士がそれぞれの立場で意見を交換しつつ検討を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		支援計画を立てる過程で各職員からの意見を出し合い、作成後も各段階話共有を行なった上で支援に取り組んでいる	
	15	こどもの通応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含めインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ベーシックなツールを基準として、支援の最質が偏ったりずれたりしない事を意識し活動内容を組み立てている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「関行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		定期的に放デイの概要の研修を職員間で行い、認識の再確認と「放デイ」存在意義の周知徹底を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		1人の方向性に偏らないように常にチームで行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		研修や教材などを活用し、利用者の成長や達成度に合わせて更新している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		状況・色利用者など毎日違う環境になる事を踏まえ、個別と集団それぞれが偏らないよう考慮して計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		良い支援を効率的・効果的に行うため、職員間で都度話し合い役割分担をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		時間の関係で支援終了後に出来なかった場合は、各自で直接伝えあったり支援会議の際に共有している	その日に振り返り・共有ができなかった場合は、直接職員間で周知をしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		連絡帳の閲写を保存し記録としている。小さな事でもヒヤリハットとして記録し周知する事で、支援の検証や改善にも繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		計画の内容に意識を持っており、必要を感じる際は都度保護者と連携しモニタリングを行い見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		組み合わせが複数になる事は必然だと感じている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を学ぶ力を育てるための支援を行っているか。	5		子どもが主体として、意見や行動を尊重している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		支援する者として理解しているのは当然だと認識している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要な時に頼る事なく支援が行う為に連携が途絶え無いよう、日頃はの事業相談は連携を続ける意識をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要性を感じる場合は積極的に行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		就学に向け関係者間での情報交換の場として支援会議を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		前例がないが、必要とあれば行う予定としている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		5	前例がないが、必要とあれば行う予定としている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		計画を進めている	
	33	（仮立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	前例は無いが必要とあれば参加をする	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎の際の情報交換を基本とし重要性を感じる内容については、認識にズレが発生しないよう管理者または児童指導員の立ち会いを取っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	必要と感じる保護者へは助言をさせてもらっている。都度必要を感じた際に情報提供を行う	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の際に説明を行い、不明な点等が無いかの確認を徹底している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の観点等を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		そこをベースに計画・支援を行う事は当然だと認識している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5		同意を得る事は当然だと認識している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		ご家族に安心して相談をしてもらえる関係を築くことに、相談があった際はご家族に要望に応じた環境で助言等を行っている	送迎時や会議などの対面時に積極的に共有している。保護者さまの都合の合い時は事業所にて面談をしている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	前例が無いが必要とあれば検討をする	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		事業福祉・状況福祉を徹底の上福祉課や相談員への周知を行い迅速かつ適切な対応を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		イベント毎にインスタを更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		定期的に研修を行い、職員間での周知徹底を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々に合った伝え方や意思疎通の方法を考え行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	前例は無いが必要とあれば検討する	
非常時等の対応	46	防犯防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		規定通り作成し研修・周知を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		規定通り作成し研修・周知を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用開始時の関係者会議にて、必要事項は確認の徹底をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づく対応がされているか。	5		前例は無いが、該当者が利用となった場合は対応する	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		規定通り作成し研修・周知を行っており、規定に沿った支援を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		契約の際や計画の更新時等に都度周知し了承をえている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		どんな小さな事にも気づき再発防止に繋げるため、共有・検討を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		規定通りマニュアルを作成し研修・周知を行っており、規定に沿った支援を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		「運営規定」「重説」へ記載し、契約時に説明を行っている。周知と了承を得た証にご署名・押印をいただいてる	